

長時間 停電時 における

注意

①停電時は家電製品のスイッチを切り、コンセントを抜いておきましょう

停電から復旧した際、アイロンや電気コンロなどの熱を発する家電製品の近くに、衣服など燃えやすいものがあると、引火して火事の原因になります。ヒューズやブレーカーが飛ぶなど家電製品への影響も考えられることから、スイッチを切り、さらにコンセントを抜いておくようにしてください。

②停電時の119番通報について

I P電話やF A X機能付きの固定電話などの一部の電話機では、停電のとき使えなくなるものがあるので、使用できない場合は携帯電話や公衆電話から通報してください。

③エレベーター内などに閉じ込められたら

エレベーターや自動ドアなどは停電時に停止し、使用できなくなるだけでなく、閉じ込められる恐れがあります。万一、エレベーター内に閉じこめられた場合は、ビルの管理人や警備室などへ連絡できる通話装置（インターホン）がありますので、状況を説明して救助を待ってください。

④火の取扱いに注意しましょう

照明としてろうそくを使用することは避け、懐中電灯などを準備しましょう。やむを得ずろうそくを使用する場合は、その場を離れず、近くに燃える物を置かないようにするなど火事にならないように注意してください。

⑤部屋などを片づけておきましょう

停電時に暗くなると、物につまずいて転んだり、階段を踏み外して落下したりすることがあります。普段から部屋の中や廊下、階段を片づけておきましょう。

⑥防災設備が機能しないことに注意しましょう

自動火災報知設備や住宅用火災警報器の機能が停止するおそれがあります。火の取扱いに注意しましょう。屋内消火栓設備などの消火設備についても使用できない可能性があるため、巡回監視を行うとともに消火器の設置場所を確認しましょう。

⑦発動発電機を使用する場合は、燃料の取扱いや換気に注意しましょう

エンジンなどの発動機により発電する発動発電機を使用する場合は、ガソリンなどの燃料（危険物）の取扱いに十分注意してください。

また、一酸化炭素中毒になるおそれがあるので、屋外など換気の良い場所で使用しましょう。